



P D C A サイクルで、認知症ケアを深める

[あとで読む](#)

【尊厳ある介護②】根拠を持たば変わる、介護の仕事の奥深さ

公開日：2017/11/28 (ソサエティ)

里村 佳子 (社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長)

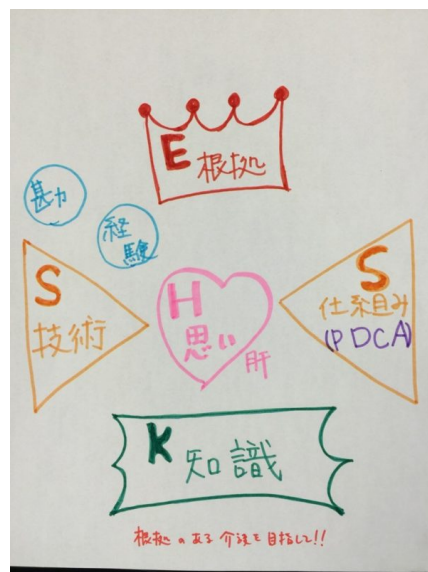
私は、縁があって20年前に社会福祉法人の立ち上げから参画しました。福祉介護の知識や経験がなかったので、仕事をしながら資格を取得しました。

介護の仕事の魅力の一つは、無資格で仕事に就いても、やる気があれば資格、知識、技術を身に着けることができ、それを現場に活かせることです。しかし、資格を取得し経験を積んでも、介護は医療のように明確な答えがなく、根拠を示せない場合が多いのです。

特に、認知症の周辺症状（徘徊、抑うつ、暴言暴力、妄想）に対して、絶対的な対処方法がないのが現状です。スタッフは、知識をもとに経験と勘でケアをしているのが大半です。しかし、それだけに頼るのであれば、スタッフによってケアにばらつきがでるだけでなく、利用者や家族に対して説明責任が果たせません。介護には根拠が必要なのです。

そのため、P D C A サイクル（品質管理などの管理業務を円滑に進める手法）に、認知症ケアを当てはめています。

施設利用者の山本洋子（70）さんは、認知症を患っていましたが、あるとき耳にティッシュを詰めて窓から飛びだそうとしたことがありました。私たちはカンファレンスを開き、P（仮説）をたてました。



イメージ図でスタッフに説明することも

耳にティッシュを詰めるのは、音に過敏なので騒がしいのが嫌で、そこから逃げ出したかったのではないか。また、希死念慮が原因で、耳にティッシュを詰めて窓から飛びだしたのではないかなどです。

それらのP（仮説）から、その利用者が耳にティッシュを詰めた場合は、山本さんのそばにスタッフが寄り添い、静かな環境を整えることにしました。そしてスタッフ全員で、その介護経過を可視化して共有するための記録用紙を壁に張出し、書き込むことをD（実行）しました。

それを後日、C（評価）したのです。耳にティッシュを詰めた時は、個別に利用者の話を傾聴すると落ち着かれること。利用者本人が、不安になるとパニックになって自分でも驚くような行動をしてしまうと言われたことから、窓から飛びだすのは、希死念慮からくるわけではないと判明しました。不安の原因は、はっきりとしませんでした。

そして、A（改善）に結びつけました。不安になる原因をさらに知るために、薬の影響や変更も含めて受診することと、不安になる前のサインを、利用者の表情や言動からみつけるだけでなく、利用者が笑顔になる背景も記録にすることにしました。その後、山本さんは耳にティッシュを詰めることはなくなり、落ち着かれました。

このようなPDCAサイクルを、介護の仕組み（スキーム）として構築すれば、スタッフは、混乱せずに認知症の周辺症状にたいして対処できます。さらに、利用者や家族に対して介護過程を説明することもできます。この方法は、画期的なことではなく、今までも介護現場で行っていたことです。それに根拠づけをただけです。

PDCAサイクルによって利用者へ関わると、すべての利用者の周辺症状が改善するわけではありませんが、スタッフ全員がP（仮説）に基づいてケアをD（実行）し、記録に書いていく過程で、何度も利用者の変化していく経験をしました。つまり、スタッフ全員が集中して利用者意識に向けてケアをするので、それが利用者に伝わり周辺症状に良い影響を与えるのではないかと考えます。

私は、介護はH（heartハート）＝利用者への思いが肝で、K（knowledgeナレッジ）＝知識を基に、S（skillスキル）＝技術とS（schemeスキーム）＝仕組みと最後に経験と勘でE（evidenceエビデンス）＝根拠のあるケアを実践することで、利用者や家族が安心する質の高いケアを提供できると考えています。

<この連載は毎週水曜日に掲載します>

（注）事例は個人が特定されないよう倫理的配慮をしています。

続報リクエスト

マイリストに追加

以下の記事がお勧めです

- > [里村 佳子氏のバックナンバー](#)
- > [政界漂流—湯水のごとく金を使った徳田の「自由連合」](#)
- > [所得が10倍になっても、胃袋は10倍にはならない](#)
- > [豊洲を公設・民営卸売市場第1号にしてはいかが？](#)
- > [サウジアラビアのロシア接近 中東情勢が流動化](#)

プロフィール

最近の投稿



里村 佳子(社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長)

法政大学大学院イノベーションマネジメント（MBA）卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設の担当理事。今年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設予定。

News Socraは、記者30年、新聞協会賞受賞の元日経新聞の土屋直也が編集長をしています。ネットで本当のジャーナリズムを盛り上げたいと思い、ベテランライターによる独自記事とセレクト記事を掲載しています。

トップへ

アプリでもご覧になれます



いいね! 0

シェア 0

ツイート

G+

LINEで送る

[この記事編集](#)

[ソクラとは](#)

[FAQ](#)

[編集長プロフィール](#)

[利用規約](#)

[利用案内](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権について](#)

[特定商取引法に基づく表示](#)

[メイキングソクラ](#)

[お問い合わせ](#)

[お知らせ一覧](#)

[コラムニストプロフィール](#)

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved